

# 活動レポート

## 青年技術士交流委員会

### 平成21年度総会開催 役員改選を行いました！

#### ■平成21年度総会報告

平成21年5月29日、KKRホテル札幌において、会員56名の参加のもと、平成21年度青年技術士交流委員会総会が開催されましたので、(遅ればせながら)御報告します。

#### 1) 平成20年度活動報告

平成20年度の活動報告として、奈良幹事長より平成20年度総会、テクニカルスクール(合意形成手法)2回、テクニカルツアー、技術士の社会認知向上事業(北海学園・旭川高専)のほか、幹事会等が行われたことが報告されました。

引き続き川島会計幹事より、平成20年度決算報告が行われ、活動報告とあわせて会場より承認を頂きました。

#### 2) 新委員長選出

第11期青年技術士交流委員会委員長として、樋詰透技術士(建設部門)が会場からの推薦を受け、満場一致で承認されました。

樋詰新委員長の青年技術士交流委員会及び第11期の活動に関する所信表明(後述)の後、副委員長及び幹事長・幹事が任命されました。

第11期の体制は表-1の通りです。

#### 3) 平成21年度活動計画

引き続き奈良幹事長より、平成21年度の活動報告について説明がありました。

平成21年度の活動の柱として、北海道の技術に関する講演会とテクニカルスクールを核とした研修会を4回程度、平成20年度に引き続き技術系教育機関での技術支援事業を2回程度実施することと、技術士全国大会(仙台)への参加等の全国交流活動事業を予定している、との報告がありました。

表-1 第11期青年技術士交流委員会体制

|      |                                                                                                                                                                                        |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員長  | 樋詰透(建設)                                                                                                                                                                                |
| 副委員長 | 松澤勝(建設)、大槻政哉(建設)、井上涼子(建設)、田中真也(総監/農業)                                                                                                                                                  |
| 幹事長  | 奈良照一(総監/建設)                                                                                                                                                                            |
| 幹事   | 小澤直正(建設)、米川康(応用理学)、林英雄(農業)、西村一郎(上下水道)、原田哲郎(総監・上下水)、岡宣克(建設)、福岡博史(総監/建設/環境)、山本太郎(総監/建設)、長谷川圭一(建設)、川島由載(総監/建設)、佐光正和(総監/建設)、田中雄太(総監/建設)、滝澤嘉史(建設)、川村力(建設)、永田泰浩(総監/建設)、永井登茂美(総監/建設)、山下誠一(建設) |

#### ■春期講演会

総会後、平成21年度春期講演会を開催しました。

今回は、青年技術士交流活動(全国/北海道)についての紹介と、北海道コカ・コーラボトリングでのCSR活動をテーマとした講演会を行いました。

#### ①講演「北海道コカ・コーラのCSR活動

##### ～事業活動とはお役立ち競争～」

北海道コカ・コーラボトリング(株)より執行役員の上島信一氏をお招きしCSR活動についてご講演いただきました。上島氏は、北海道コカ・コーラ一筋に工場、人事、営業の分野を歩まれ、昨年より法人営業部長として御活躍されております。

##### 【講演要旨】

長くみなさんに愛されている炭酸飲料、コカ・コーラ。昔は、ルートカーと呼ばれる清涼飲料を運ぶ専用車両に積んで売り歩き、途中で取り合いになるほどよく売れ、工場ではビンが帰ってくるまで、ラインを止めて待っていたほどでした。ところが、ある時期から業績が下がり気味になってきました。「なんで? どうしたんだ?」と言う間に、どんどん時間が

過ぎて行きました。



写真-1 講演する上島信一氏

5年くらい考えて、たどり着いた答えが、「市場の規模はそんなには変わらない、他社に流れているだけだろう。じゃあ、お客様に選ばれるようになろう！」ということでした。では、もう1回、選ばれ直すには、どうしたらいいんだろう？ 社員みんなで、いろいろ考えました。商品がいくらよくても、公害を出したり、不正会計があるような企業では、ぜったいダメだろう。われわれの商品は、いつもコミュニケーションの場にあるよな。40年以上、飲み続けていただいた道民の皆様の役に立とう！ これらがCSR活動につながりました。

具体的な活動を挙げますと、自動販売機をいろいろな方面で活用しています。道の駅等では、自動販売機のメッセージボードを活用し「おしらせ道ネット」として、観光情報を提供しています。

防災面では、防犯ほっとインフォメーションとして防犯広報、事件情報を提供することもできます。また、災害時には、フリーベンドとして、無料で自動販売機の中の飲料を提供できる機能をもったものもありますし、流通在庫を飲料備蓄の代行基地として支援する協定を結んでいます。

環境面では、知床地区に設置している自動販売機の売り上げ1本当たり1円を知床の環境保全活動へ寄付する協定を結んでいます。金額は約百万円と多くはありませんが、100万人からの気持ちをお届けしていると考えています。



写真-2 講演風景

～上島氏から技術士の皆様へのお願い～

今回、青年技術士交流委員会の講演ということで、多くのエンジニアの皆様にお願ひがあります。これからの企業にとって環境配慮意識は不可欠なものです。しかし、残念ながら環境配慮技術には、コストが高いものが多い。皆様には、民間企業が積極的に導入できる低コストの環境配慮技術(特に下のもの)を開発し、北海道コカ・コーラに教えていただきたいので、よろしくお願いいたします。

低コスト環境配慮技術を望むもの！

- ・トラック等の業務用車両に関する技術
- ・照明、冷暖房等オフィス運営に関わる技術
- ・飲料の生産設備に関わる技術
- ・飲料容器に関わる技術
- ・省エネルギーをもとにした3Rに関わる技術



写真-3 講演会で配られたコカ・コーラ

#### 【所 感】

事業活動はお役立ち競争、といったわかりやすい視点からCSR活動の基本的な心構えと具体的な事

例を学ぶことができ、技術士という公益確保の責務に繋がる、新しい「気づき」をいただいたと感じています。

講演依頼の打ち合わせに、北海道コカ・コーラを訪問した際、特別に清田工場を見学させていただきました。僕のようなアラフォー世代は、小学生の頃、見学させていただいた工場と比較し、数段進化した設備に時も忘れて、つい見入ってしまいました。

工場でも様々な工夫がされており、チャンスがあれば、工場見学されてはいかがでしょうか。

## ②紹介「青年技術士交流活動の紹介」

日本技術士会（本部）青年技術士交流実行委員会の田村裕美委員長をお招きして、全国における青年技術士交流活動の紹介して頂きました。平成21年度の本部組織改変に伴う青年技術士交流実行委員会の位置付けについて、また、国際交流やテクノツーリズム等、全国における活動内容についての紹介がありました。

また田中副委員長からは、北海道の青年技術士活動内容について、総会での活動報告を、写真等を示すことでより具体的に紹介しました。

## ■意見交換会

講演会に引き続いて意見交換会を開催いたしました。新たに合格された技術士、技術士補の方8名から自己紹介や今後の抱負を語って頂きました。



写真-4 意見交換会の様子

また、会に参加された沢山の方々が、来賓としてご出席いただいた田村委員長や北海道コカ・コーラ

の上島氏と懇親を深められていました。新たなビジネスモデル構築を目指す？上島氏と何やら“次”に繋がる話をされていた方もいらっしゃったようで、大変盛り上がった意義のある会となりました。

## ■新旧委員長より

### 【丹治旧委員長】

第10青年技術士交流委員会の委員長を務めさせていただいた丹治です。本日の総会にて、第10期委員長の大任を無事終えることができました。平成19年度・20年度にわたる青年技術士交流委員会第10期においては、道内技術士・技術士補の皆さんのご協力とご支援のもと、多くの活動を青年技術士層から発信させていただきました。



写真-5 丹治前委員長の挨拶

年々、技術士資格を持つ青年層の割合が増えるにつれて、私たち青年技術士交流委員会の活動が、単なる会員相互の資質向上や親睦にとどまらず、若い次世代技術者を育むための支援や、社会における技術士の認知度の向上等、課せられた役割が多様化してきたことを実感しつつ、取り組んだ2年間でした。

さらに、そうした活動に対する諸先輩技術士からの期待や激励をひしひしと感じる2年間でもありました。その期待に十分に答えられたかどうかは皆さんのご判断に委ねたいと思いますが、次の世代にバトンタッチする時を迎えることとなりました。

第11期青年技術士交流委員会の体制については、樋詰新委員長を筆頭とする役員・幹事で新たなスタートをきることとなりました。

今後、ますます青年層らしいフレッシュな視点で活発な活動を続けていくことと思いますので、引き続き皆様のご期待とご支援をよろしくお願い致します。

2年間にわたり、本当にありがとうございました。

#### 【樋詰新委員長】

第11期青年技術士交流委員会の委員長に就任いたしました、樋詰透です。



写真-6 樋詰新委員長の挨拶

青年技術士交流委員会は、本日より第11期目のスタートとなります。任期は1期2年ですので、前身の「青年技術士協議会」を含めると、20年間さまざまな形で活発な活動が展開されてきました。

現在当委員会は、日本技術士会北海道支部の実行委員会に位置付けられており、「技術士の資質向上」、「技術交流」、「社会貢献」といった目的のもと、年に数回の講演会・研修会や勉強会を開催しています。

特に、「社会貢献」においては、「若手の技術者離れ」と言われている昨今、いかに技術の大切さや楽しさを実感してもらうか、また、いかに技術の重要性を認識してもらうか、われわれ青年技術士交流委員会のなかでも重要課題であると考えております。

皆様におかれましては、今後とも青年技術士交流委員会の活動に際し、いままで以上のご指導やご協力を賜りたいと共に、当委員会主催の講演会や研修会に、積極的な御参加をいただければありがたいと思います。

最後に、第10期青年技術士交流委員会を退任されました丹治前委員長をはじめ幹事の皆様、大変お疲

れ様でした。いままでのご活躍、本当にありがとうございました。皆様、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

#### ■おわりに

コンサルタンツ北海道の原稿不切とタイミングが合わず、総会及び春の講演会の報告が大幅に遅れてしまいましたことをお詫びいたします。

既に第11期の活動はスタートしており、7月にはコーチングに関するテクニカルスクールが開催されております（グラビア・報告を参照）。

今後にも様々な活動・事業を鋭意実施していく予定となっております。新規メンバーも加わった第11期の体制で頑張っていきたいと思いますので、今後ともご支援をよろしくお願い致します。

（文責：青年技術士交流委員会西村一郎・大槻政哉）

#### EPO（エンジニア・パーク・オンライン）のご案内

青年技術士交流委員会では、社団法人日本技術士会会員及び技術士補を含む準会員、北海道支部賛助会員全員を対象として、メーリングリスト「エンジニア・パーク・オンライン（EPO：エポ）」を1998年（平成10年）12月1日より開設しています。2009年9月現在、590名の方が加入されています。

EPOに登録を希望される方は「①ご自身の氏名と所属」、そして「②社団法人日本技術士会の会員、準会員、北海道支部賛助会員」であること、「③メーリングリスト登録希望」の旨を本文に書き、以下のメールアドレスまでeメールを送ってください。

メーリングリストとは、メールに登録会員全員に同報配信する仕組みで、特定のことがらに詳しい人を探したり、講習会や行事等の案内、会員相互の様々な情報交換に重宝なものです。メーリングリストEPOに関するお問い合わせについても、次のメールアドレスまでご連絡ください。

メーリングリスト申込用メールアドレス

seigikyo@ipej-hokkaido.jp

※テキスト形式のみで受付けしています。